

大宰府歴史公園
整備の現状



大宰府政庁跡（正殿跡）

1976.3
福岡県教育委員会

はじめに

古来「遠の朝廷」と呼ばれていた古都大宰府の歴史的景観を保持し、普及活用するために、昭和48年6月28日大宰府史跡整備対策委員会より知事に「大宰府歴史公園整備前期5ヶ年計画」が答申され、その計画に基づいて整備が行われてきました。

ここに各主要史跡の概要及び整備の現状を報告する中で、今後の整備の一助になれば幸甚に存じます。

1976年3月

福岡県教育委員会

教育長 森田 實

目次

1 大宰府跡	1
2 水城跡	3
3 大野城跡	5
4 筑前国分寺跡	7
5 観世音寺	7
6 大宰府学校院跡	8
7 大宰府周辺の文化財	9
8 大宰府関係略年表	14

1 大宰府跡

古くから都府樓の名で親しまれてきたこの地域は、『日本書紀』によれば、天智天皇2年(663年)、唐、新羅の連合軍と白村江において百済と共に戦って大敗した我が国が、大陸からの侵襲に備え、博多の郡津(当時は官家と呼ばれ、現在の福岡市大橋付近と想定されている所)にあった大宰の府(九州一円^{あそび}の統治の拠点であると共に、対外交渉を掌る役所)を移したところである。

大宰府をこの地に置くと同時に、百済からの亡命者の指導により、北面の四王寺山に大野城、南面の基山に基肄城を、平野部には水城を築いて大宰府を防衛した。

その後、大宰府は一時廃止されて筑紫鎮西府が設置されたりしたが、すぐ復活し「此の府、人物殷繁にして天下の一会なり」といわれるほどの繁栄をみた。

10世紀中頃、藤原純友の乱の戦火で焼失する等幾多の変遷を重ねながら、13世紀頃まで九州一円に対する権威を存続させていた。

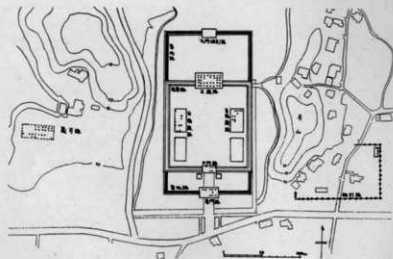
大宰府は、平城京の都城制にならって、南北22条、東西24坊の条坊制をしき、大宰府政庁は方4町、大宰府学校院は方2町、観世音寺は方3町の規模があったと想定されている。また、大宰府政庁の建物は、正殿及び東西各2棟の脇殿(いずれも柱間4間×7間)、並びに中門(2間×3間)、南門(2間×3間)それに正殿後方に北門(推定)、そして、これらをかこむ回廊、築地で構成されている。

なお、西側の丘には柱間3間×9間の規模をもった建物礎石があり、穀物、財物等を管理する蔵司^{くらじ}のあったところとされている。東側の月山と呼ばれる丘は、漏刻台(水時計)が置かれた場所と想定されている。

この地域は昭和41年以來、遺構の平面復元を中心として、別表のような整備事業を行なってきた。そして、現在、写真のように中心部分の整備は、北門部分を残すだけで、90%以上の整備が完了している。

なお、今後、東側の月山、及び西側の蔵司部分の整備が課題として残されている。

図1 大宰府政府跡遺構配置図





大宰府政府跡環境整備現況

表 1 大宰府政府跡環境整備事業

年度	整備内容
41 ~ 44	前面築地張芝工事、苗木植栽工事
46	西側回廊復元工事
47	東側回廊復元工事、水路整備工事
48	西側園路整備工事、付替水路整備工事
49	前面修景工事、西側回廊復元工事、脇殿復元工事、後殿築地工事
50	中門、南門整備工事、前面張芝工事、内廊整備工事、園路及び苗木植栽整備工事 標識工事、後殿築地工事、伐倒

2 水城跡

水城は天智天皇3年(664年)に大宰府防衛のために築造された土塁である。

現在、水城は、太宰府町・大野城市にある大土塁の他に、大野城市大字上大利に上大利土塁、春日市大字下白水に大土塁土塁、同上白水に天神山土塁が遺存している。

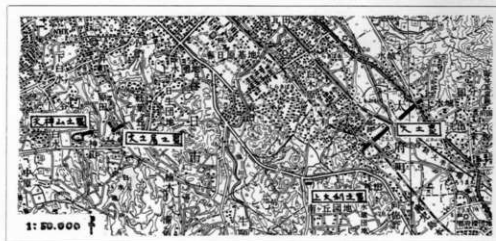
水城の築造方法は、昭和47年の発掘調査の結果、砂質土と粘土を何十層にも交互に突き固めて積み上げたものであることが明らかになった。また昭和50年の調査では、土塁の前面である福岡市側に幅60m、深さ4mに及ぶ壕があり、土塁の中には壕に水を導き入れるための木樋(木製の導水路)が長さ80m、幅1.5m、高さ0.7mの規模で通っていることが確認された。

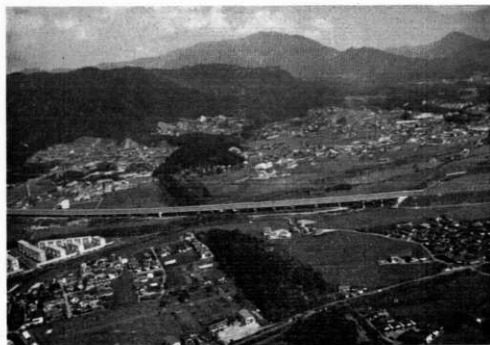
昭和47年の春日市の大土塁土塁の調査によっても、前面に壕状のものが確認されており、水城とは前面に水を貯えて、大宰府に攻め込む敵を防いだものであろうと想定される。

このことは、『日本書紀』天智天皇3年の条にある「又筑紫に大堤を築きて水を貯えしむ。名付けて水城と曰う。」という水城築造の記事と一致するものである。

この地域の整備は、本年度を初年度として行ない、今後は、前面(福岡市側)及び背面(太宰府町側)の保存と兼ねあわせての整備が課題となっている。

図 2 水城跡遺構位置図





水城跡（大野城市上大利方面から）

図3 水城断面図

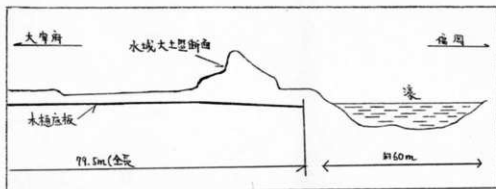


表2 水城跡環境整備事業

年度	整備内容
50	発掘調査、標識工事、緑化修景工事、航空写真図化、伏見

3 大野城跡

大野城は、白村江の戦いで敗れた我が國が大宰府を現在の場所に移し、その防備のために、百濟の亡命軍將の指導のもとに基山の基礎城と共に築いた城で、通称朝鮮式山城といわれている。

城跡は四王寺山全域に及び、四王寺盆地を取り囲むように段線を人工的に築かれた土塁が走っており、その各所には、城門が造られている。現在、確認されている城門は、百間石垣、水城口、坂本口、大宰府口の4ヶ所で、いずれも、門礎が現存している。

また、城内各所に礎石を伴った建物群が点在しており、主要なものは、尾花地区、増長天地区、八ツ波地区、主城原地区、猫坂地区の5ヶ所である。この建物は、倉庫であったであろうと想定されているが、各建物跡の点検をすす中で、今後その性格が明らかになってくるものと思われる。

なお、土塁の各所には、石塁も確認され、主要なものは、百間石垣、坂本大石垣、小石垣等があげられる。

本年度、環境整備に伴い、八ツ波地区及び坂本大石垣の発掘調査を行なった結果、八ツ波地区からは、15棟にも及ぶ建物跡が確認され、また坂本大石垣は、現在道が通っているが、本来は、谷を塞いで一続きになったものであったことが確認された。

大野城跡の整備は、昭和47年度から行なわれ、別表の如く事業が実施されてきた。今後、発掘調査が進むにつれ、城跡の全容が明らかにされるとともに、整備も進むものと思われる。

また、当地域は、県林務部が「県民の森」整備事業を行っており、51年6月オープンを目指して、史跡と緑の調和のとれた県民の憩いの場にするよう事業を進めている。

図4 大野城跡区域配置図





大野城跡 坂本大石塊

表 3 大野城跡環境整備事業

年度	整備内容
47	尾花地区礎石群整備工事、百間石垣修復工事、伐開
48	増長天地区礎石群整備工事、尾花地区地形復元工事、伐開
49	百間石垣保全修繕工事、伐開
50	大石垣復元修繕工事、ハツ波地区礎石群発掘調査及び復元整備工事、伐開

4 筑前国分寺跡

天平13年(741年)の聖武天皇の勅願により全国に造られた国分寺、国分尼寺のひとつである。

現在は、塔跡が、その心礎と共に当時をうかがい知ることが出来る唯一のものになっているが、現本堂の位置には金堂、その北側の掃地には講堂があったことは、過去の調査により想定されている。

また、中門・南大門・回廊等の有無、位置等については、現在明らかにされていないが、本年度の調査により、回廊の位置等については明らかにされる。

今後、発掘調査を行なっていく過程で、全容が明らかにされるであろうし、それに伴ない整備を進めていく予定である。



国分寺現況

図5 筑前国分寺跡配座復元想定図

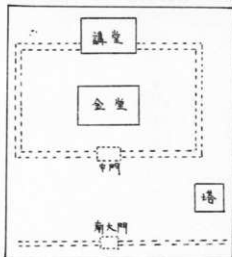


表 4 筑前国分寺跡環境整備事業

年度	整備内容
50	航空写真図化、発掘調査、標識工事

5 観世音寺

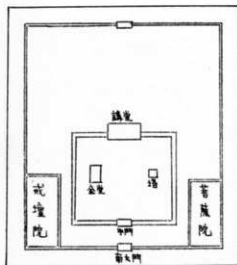
今から約1300年前の天智天皇の時代に、筑紫で亡くなった母斉明天皇の供養のために発願し、建立された寺である。しかし、その完成には、80年余(天平18年(746年)完成)を要し、この間、沙弥満智、僧正玄昉が寺建立のために派遣されているが、玄昉は、寺完成時に暗殺されている。

また、天平宝字5年(761年)には、東国下野の薬師寺、畿内奈良の東大寺とともに西国を掌る戒壇として観世音寺が選ばれている。

往時には、七堂伽藍がととのい西国第一の寺で、49の子院があったと伝えられている。現在、往時を偲ぶものとして、国宝の梵鐘、重要文化財の平安・鎌倉時代の仏像の他に、講堂跡の礎石群、塔の巨大な心礎があげられる。また、著名な資料として、『延喜5年観世音寺資財帳』がある。

当時の伽藍配置は、別図のようになっていたと想定されている。発掘調査は、観世音寺及び子院については、ほとんど行なわれていないが、今後、史跡地内全般の活用面から子院跡の調査と整備を行なっていく必要があると思われる。

図6 観世音寺伽藍配置復元図



6 大宰府学校院跡

奈良時代の律令体制の下で、中国の制度にならった官吏養成のための学校が設置されたが、中央に大学寮、諸国に国学が置かれたように、九州を管轄する大宰府にも官吏養成のための学校が置かれた。ここは、大宰府の下級官吏の養成所であり、九州一円の郡司等の子弟が学んだところである。

現在、発掘調査が実施されていて、ほぼ完形の蓮花唐花文埴を礎石がわりにした建物跡も発掘されたりしているが、学校院の遺構等については、明確になっていない。

今後、調査を進める中で全容が明らかになってくるものと思われる。

図7 埴拓影



大宰府周辺の文化財

凡例、国=国宝、特史=特別史跡、重=重要文化財、史=史跡、天=天然記念物

県=県指定、有=有形文化財、無民=無形民俗文化財、有民=有形民俗文化財

(建)=建造物、(絵)=絵画、(彫)=彫刻、(工)=工芸、(書)=書跡、(考)=考古資料

(1) 太宰府天満宮 筑紫郡太宰府町大字太宰府

指定区分及び類別	指定年月日	指定名称	員数
重 (建)	(明 40. 5. 27)	太宰府天満宮本殿 五間社流造、正面向拝一間、軒唐破風附、左右側面各一間車寄、軒唐破風附、繪皮葺	1棟
	(昭 41. 6. 11)	階 櫓札 天明三亥卯冬11月5日の記があるもの 修理工文化3年丙寅10月8日の記があるもの 修理工文化七甲申歲閏12月20日の記があるもの 文政十一戊子年8月21日の記があるもの 天保3年壬辰臘月9日の記があるもの 壽翁天保九戌戌歲5月18日の記があるもの 緒弘化三丙午歲正月28日の記があるもの 替替文久二年戊子3月20日の記があるもの	9枚 1 1 1 1 1 1 1 1
重 (建)	(明 40. 5. 27)	太宰府天満宮末社賀社本殿、一間社入母屋造、正面千鳥破風附、向拝一間、唐破風造、繪皮葺	1棟
県有 (建)	(昭 36. 10. 21)	天満宮の石造鳥居	1基
県有 (建)	(昭 36. 10. 21)	天満宮の石造燈籠	1基
県有 (絵)	(昭 37. 7. 26)	北野天神縁起	3巻
重 (工)	(大 12. 3. 28)	毛抜形太刀 無銘	1口
重 (工)	(大元. 9. 3)	太刀 銘 倭次	1口
県有 (工)	(昭 33. 10. 29)	鉄製雲版	1面
県有 (工)	(昭 37. 4. 19)	銅製鑿口	1口
県有 (工)	(昭 37. 2. 20)	銅製花瓶	1対
県有 (工)	(昭 37. 4. 19)	銅龜文懸壺	1対

県有(工)	(昭 37. 2. 2)	太宰府天満宮梅輪擬宝珠 附 釘かくし	6 個 16 個
県有(工)	(昭 37. 2. 20)	銅製麒麟並にうそ	各1基
県有(工)	(昭 37. 2. 20)	銅製 神 牛	1 基
国 (書)	(昭 6. 12. 14)	輪 廻 巻 部 冊	1 巻
	(昭 29. 3. 20)		
重 (考)	(昭 36. 6. 30)	蓮華唐花文母 福岡県筑紫郡太宰府町大字観世音寺出土	1 箇
県有(考)	(昭 30. 3. 12)	瓦 経	7 個
県有(考)	(昭 32. 8. 13)	銅製 経 筒	1 口
県有(考)	(昭 32. 8. 13)	石製 経 筒	1 口
県有(考)	(昭 36. 1. 14)	滑 石 硯	1 面
県有(考)	(昭 37. 4. 19)	太宰府安養院跡五輪塔残欠	1 基
県有(考)	(昭 44. 5. 1)	蒙古 硯 石	1 個
県無民	(昭 30. 3. 12)	鬼 す べ	
県無民	(昭 35. 4. 12)	竹 の 曲	
県無民	(昭 36. 10. 21)	太宰府天満宮神奉祭	
県有民	(昭 37. 2. 20)	太宰府天満宮の石	3 個
県有民	(昭 37. 2. 20)	梵 字 文 神 鏡	2 面
県有民	(昭 37. 7. 26)	木造渡唐天神立像	1 軀
天	(大 11. 3. 8)	太宰府神社のクス	3 本
天	(昭 10. 6. 7)	太宰府神社のヒロハチシノキ	1 本
県 天	(昭 36. 1. 14)	天 神 の 森	1 叢

(2) 観 世 音 寺 筑紫郡太宰府町大字観世音寺

指 定 区 分 及 び 種 別	指 定 年 月 日	指 定 名 称	員 数
県有(建)	(昭 32. 8. 13)	観世音寺金堂及び講堂	2 宇
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造阿弥陀如来立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造阿弥陀如来坐像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造観音菩薩立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造観音菩薩坐像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造11面観音立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造11面観音立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造11面観音立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造馬頭観音立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造不空羂索観音立像	1 軀
重 (彫)	(大 元. 9. 3)	木造地藏菩薩立像	1 軀

重 (彫)	(大 元. 9. 3)	木造地藏菩薩半跏像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造四天王像	4 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造羅刹門立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造吉祥天立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造大黒天立像	1 軀
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	木造舞楽面	3 面
重 (彫)	(明 37. 2. 18)	石 造 狛 犬	1 対
国 (工)	(明 37. 2. 18) (昭 28. 11. 14)	梵 鐘	1 口
重 (工)	(大 元. 9. 3)	銅製天童光心	1 個

(3) その他太宰府町内所在文化財

指 定 区 分 及 び 種 別	指 定 年 月 日	指 定 名 称	員 数	所有者又は管理者等 (所在地)
重 (建)	昭29. 3. 20	七 重 塔	1基	片野区 (大字南字般若寺)
重 (彫)	昭37. 8. 29	木造盧舍那仏坐像	1 軀	戒壇院 (大字観世音寺)
重 (彫)	昭37. 2. 18	木造仏像 (伝薬師如来坐像)	1 軀	国分寺 (大字国分)
県有(工)	昭35. 4. 12	華 洗 印 材	1 個 3 個	宮小路實室 (大字太宰府)
重 (考)	昭34. 12. 18	鬼 瓦	1 個	太田正夫
重 (考)	昭36. 6. 28	筑前国筑紫郡宝満山経塚出土品 銅 経 筒 金銅菩薩立像	一口 1 軀	河内印兵衛 (大字太宰府)
県有(考)	昭37. 4. 19	太宰府安養院跡五輪塔残欠	1 基	太宰府町 太宰府町
特 史	大10. 3. 3 昭28. 3. 31 昭45. 9. 21 昭49. 6. 25	大 字 府 跡		
特 史	昭7. 7. 23 昭28. 3. 31	大 野 城 跡 附西王寺跡		太宰府町
特 史	大10. 3. 3 昭13. 12. 28 昭28. 3. 31	水 城 跡		太宰府町
史	昭45. 9. 21	太宰府学校院跡		太宰府町
史	昭45. 9. 21	観世音寺境内及び院跡		太宰府町
史	大11. 10. 12	筑前国分寺跡		太宰府町
史	大11. 10. 12	国 分 瓦 窯 跡		太宰府町
県 史	昭35. 1. 12	横岳崇福寺跡		太宰府町

(4) 春日市所在分化財

指定 及び 種別	指定年月日	指定名称	員数	所有者又は管理者等 (所在地)
重 (工)	昭30. 2. 2	銅製鈴籠	2個	熊野神社 (大字小倉)
県 無 民	昭34. 3. 31	春日のむこおし		春日神社 (大字春日)
特 史	昭48. 8. 10	水 城 跡 (大土居土塁)		春日市 (大字下白水)
県 天	昭38. 1. 16	住吉社のナギの杜	1叢	春日市
県 天	昭38. 1. 16	春日の杜 (樟)	1叢	春日市
県 天	昭39. 5. 7	春日神社のセンリョウ叢林	1叢	春日市

(5) 大野城市所在文化財

指定 及び 種別	指定年月日	指定名称	員数	所有者又は管理者等 (所在地)
県 有 (彫)	昭45. 5. 2	木造聖観音立像	一躯	聖観音保存会
県 有 (所)	昭35. 4. 12	竹田家所蔵文書	8巻	竹田博吉 (大字牛頭)
県 有 民	昭47. 4. 15	筒井の井戸	1基	大野城市 (大字上筒井)
特 史	大10. 3. 3	水 城 跡		大野城市
	昭21. 12. 28			
	昭28. 3. 31			
	昭48. 8. 10			

(6) 筑紫野市所在文化財

指定 及び 種別	指定年月日	指定名称	員数	所有者又は管理者等 (所在地)
特 史	昭12. 12. 12	基 礎 城 跡		筑紫野市
	昭29. 3. 20			
史	昭24. 7. 13	五郎山古墳	1基	筑紫野市
史	昭14. 9. 7	塔 原 塔 跡		筑紫野市
県 史	昭35. 8. 16	武 蔵 寺 跡		筑紫野市

(7) 宇美町所在文化財

指定 及び 種別	指定年月日	指定名称	員数	所有者又は管理者等 (所在地)
重 (工)	昭15. 10. 14	筑前国四王寺社経塚群出土品		宇美八幡宮
		銅経筒 木製内筒及経軸残片共	1口	
		石造如來立像 以上第1経塚	1体	
		輪軸式銅経筒	1口	
		杜 瓦 以上第2経塚	2枚	
		銅経筒	1口	
		瓦 筒 以上第3経塚	1口	
		福輪経筒	1口	
		青白磁盆子	1合	
		山吹双塗鏡	1面	
		菊花双塗鏡	1面	
		鏝	1口	
		銅経筒 木製割台及経色残塊共	1口	
		銘文元永武年歳次己亥秋月廿四日		
		胎蓮僧良実 以上第5経塚		
		福輪経筒 以上第6経塚	1口	
		福輪六耳蓋 経軸共	1口	
		青白磁小壺 以上第7経塚	1口	
		輪軸式銅経筒 以上第8経塚	1口	
		福輪経筒	1口	
		附 法華経 (一部八巻)	2部	
		輪軸式銅経筒	1口	
		四王寺山出土		
県 有 民	昭35. 9. 6	聖母宮神像	1体	宇美八幡宮
県 有 民	昭30. 9. 6	宇美八幡宮の安産信仰に関する伝説地	1所	宇美八幡宮
県 無 民	昭48. 11. 15	宇 美 神 楽		宇美神楽保存会
特 史	昭7. 7. 23	大野城跡附四王寺跡		宇美町
	昭28. 3. 31			
天	大2. 3. 8	清書の森 (クス)		宇美八幡宮
		衣掛の森 (クス)		
県 天	昭34. 3. 31	蛇田の森 (樟)	1叢	宇美八幡宮

